



NADPZ

NEWSLETTER

SEPTEMBER/ OCTOBER 2024



困難の中にも明るい未来がある



ザンビアは現在、長期の干ばつにより深刻な食糧不足と頻繁な停電に直面しています。これらの困難にもかかわらず、将来の世代の成果を祝う国として、希望の精神が輝いています。

10月に、カベタ職業訓練センターは、縫製と大工の学生を対象とした初めての卒業式を開催しました。学生たちは1年間にわたりそれぞれの技術を習得し、卒業しました。学生たちは8月にカロモ職業訓練センターと協力して最終試験を受けました。このセンターはザンビア政府の下で技術教育職業訓練権威（TEVETA）によって認定されています。このパートナーシップのおかげで、カベタの学生は自分が選んだ分野の証明書を誇りを持って受け取りました。

この重要な機会には、秀明からアラン・イマイ氏、地元の国会議員、チーフと市長の代表者、その他のコミュニティリーダーが出席しました。カロモ職業訓練センターの校長もこのイベントに参加し、卒業生の証明書を持参し、カベタの学生の成果を認めました。

卒業式では、アラン・イマイ氏と国会議員、チーフの代表が一緒にカベタ職業訓練センターの公式の開所式を行いました。彼らは学生たちの1年間の努力と献身の成果を示す作品を見て回りました。リーダーたちと教師たちは知恵の言葉を分かち合い、センターの将来の成長と成功への継続的な支援を誓い、職業教育がザンビアの若者に与える影響を強調しました。

この日の喜びに加えて、学生たちは自分たちの卒業式の服を作り、この特別な節目を祝うためのダンスを振り付けました。誇りに思う両親が出席し、子どもたちの成果を称える贈り物を持参し、この変革の機会に喜びを表現しました。

この卒業式はカベタ職業訓練センターにとって画期的なイベントであり、教育とコミュニティサポートの力を証明するものでした。このセンターの設立がどのようにして多くの若者の人生を変え、これからも変えていくかを強調し、彼らに技術と明るい未来への希望を提供しています。

第20周年自然農法ショーに参加する秀明青年のために大工学生がベッドを製作

2025年8月に迫る第20周年自然農法ショーに向けて、地域社会内で期待が高まっています。特に職業訓練センターの大工教師と卒業生たちの間でです。今年彼らは特別なプロジェクトとして、地元の参加者とともにインベントに参加し記念すべき20周年を祝う秀明青年のために35台のベッドを製作することに挑戦しています。

彼らのインストラクターの指導の下、この学生たちは35台の高品質なベッドだけでなく、食事の際に使用されるダイニングテーブルやベンチなどの追加家具も製作することを約束しました。その技術を示し、今後のショーの準備に直接貢献できる有意義なプロジェクトで大工技術を修得する機会に学生たちはわくわくしています。

学生たちにとって、この取り組みは単なる大工仕事を超えたものです。海外からの訪問者とのつながりを持ち、異文化体験に没頭する機会を表しています。これらの若い大工の多くは、秀明青年を自宅に迎え入れ、ホームステイを提供し、意義深い文化交流に参加します。共有される食事、会話、自然農法ショーの活動への参加を通じて、学生と秀明青年はお互いから学び、ザンビアの文化、伝統、自然農法の実践についての知識を交換する機会を持ちます。

この協力は、実践的な教育がコミュニティイベントにどのように影響を与えるかを示しています。自分たちのスキルを披露するだけでなく、学生たちはゲストを歓迎し、この20周年を思い出深いものにするために重要な役割を果たすことを誇りに思っています。彼らが制作する家具はイベント後も使用され続け、この記念すべき年とこの会に生まれた意味深いつながりの思い出として残ります。

私たちは活気に満ちた第20周年記念のお祝いを準備する中で、秀明青年の到着を楽しみにしており、このイニシアチブから生まれる独特の友情と学習体験を期待しています。私たちは大工の教師と学生たちの努力と献身に感謝し、2025年8月の祝祭を心待ちにしています。





ムンブアでは、イマイ氏は首都ルサカ近くの新しいプロジェクトエリアを紹介されました。都市資源に近いにもかかわらず、この地域は依然として深刻な水不足に直面しています。それでも、ムンブアの農民たちの決意は明らかであり、直面する障害に関係なく自然農法の継続とその決意を示していました。

ペンバ地域では、6つの協同組合すべてから代表者が出席しており、最も遠い地域からも旅をしてきていました。彼らの出席は、プロジェクトと農民たち間の情熱を示し、彼らを動かす組合意識を力強くしました。

20周年イベントのニュースは特に女性たちの間で興奮を呼び、秀明青年を迎えて、20年に渡る彼女らの成長と共通の目的を祝うことを楽しみにしています。この訪問中、イマイ氏は自然農法に集中し、在来種の種子を分かち合うことで互いを支えるように奨励しました。これにより、作物の損失を被った農民たちも今後の収穫のために植え付けと種子保存の実践を再開できるようになります。

豊かな雨季を願いながら、これらの協同組合は継続、献身、そして将来への信念を示してくれました。



雨季前のムンブアとペンバ協同組合訪問

最近、アラン・イマイ氏は雨季が始まる前にムンブアとペンバの協同組合の献身的な農民たちを訪れました。農民たちは、数ヶ月先の作物の豊作を願って雨を待ち望んでいます。

イマイ氏の訪問は、歌や温かい笑顔、そして前向きなエネルギーが溢れる出迎えで、これらのコミュニティ内の強さと団結を示しました。多くの課題にもかかわらず、新旧のメンバーが彼を歓迎するためにプロジェクトサイトに集まり、自然農法の継続とその決意を示していました。

色々な農民クラブの女性たちが長い距離を旅して参加し、自然農法を通じて培われたコミュニティの絆への献身を強調しました。彼らの存在は、困難に直面してもこれらの協同組合内で育っている団結と相互支援について多くのことを物語っています。



ザンビアにおける自然農法20周年を祝う

この旅を始めてから早20年が経ちました。プロジェクトを始めた当時、私は希望と決意に満ちた若い女性で、違いを生むことに熱心でした。振り返ってみると、私たちがどれだけ進んできたかが驚くほど明らかです。過去20年間、多くの挑戦と勝利を目の当たりにしてきましたが、それぞれが私の心に消えない痕を残し、私の決意を強めてくれました。しかし、何よりも私を鼓舞し続けるのは、私たちが協力しているコミュニティとその不屈の精神です — 障害があっても、生活方式を守り、繁栄しようとする決意です。

来年、20周年を祝うにあたり、自然農法ショーに皆様をお招きできることを大変嬉しく思います。このイベントは自然農法のショーケースだけではなく、文化、回復力、そしてコミュニティの変革力を祝う場です。意味ある方法でつながり、物語を共有し、お互いから学ぶ場所です。

このショーは文化交流の機会を提供します。ここでは、ザンビアの鮮やかな伝統、風味、声を体験できます。何よりも、私たちの物語を皆様と共に共有し、私たちが辿ってきた道を窓から覗くようにして開くことを楽しみにしています。そして、この旅を前進させる重要な一部として皆様を歓迎します。

皆様が帰るとき、ザンビアのエネルギーの一片を持ち帰っていただけることを願っています — 私たちを毎日駆り立てる情熱の火花を。皆様が聞く物語が皆様と共に留まり、自然農法とそれに専念するコミュニティに対する新たな評価を引き出すことを願っています。私たちは一緒に、未来の世代が土地と調和して生きる力を育む遺産を育てているのです。

私たちと共にいてくださった皆様、始めからここにいた方も、今私たちの活動を発見したばかりの方も、ありがとうございます。私たちが行っていることを信じ、熱意と支援を送ってくださることがどれほど意味があるか、言葉では表せません。この道と一緒に育て、持続可能で繁栄する未来へと進んでいきましょう。

バーバラ・バンダ
プロジェクトコーディネータ

